

AUTOSPORT MIHAMA SPORTKART SERIES
オートスポーツ・ミハマ・スポーツカートシリーズ
2010年 規則書

本大会は開催各サーキット場内規則、本大会特別規則、K-TAI 車両規則にしたがって開催される

1、イベント名称 AUTOSPORT MIHAMA SPORTKART SERIES
オートスポーツ・ミハマ・スポーツカート・シリーズ

2、主催者

第1、2、4、5戦 株式会社美浜サーキット・クニモト 愛知県知多郡美浜町野間字馬池16
電話番号 0569-87-3003、FAX 番号 0569-87-3001
第3戦 有限会社ケーアールピー 京都市伏見区下鳥羽長田町161
電話番号 075-612-1191、FAX 番号 075-612-1192

3、開催の有無およびキャンセル

雨天決行とする。主催者判断による開催中止の場合には、エントリー事務手数料（1,000円）を除き参加費を返却する（下記参照）。返金方法はその都度、連絡をする。ただし、参加者都合によるキャンセルは参加費を返却しない。

イベント中止のタイミング	参加費返金の対応
走行が1回も行われていない場合	事務手数料を除いて参加費を返却
走行開始後（公式練習を含む）	返却をしない

4、開催クラス区分

GT1 K-TAI スポーツカート規則に準拠した参加者持ち込みのカート
GT2 主催サーキットが用意するレンタルカート

5、開催サーキット、日程、レース時間、各クラスのグリッド数

Rd.	日程	開催コース	レース時間	GT1 グリッド数	GT2 グリッド数
第1戦	3月27日	MIHAMA サーキット	2h	20	20
第2戦	5月22日	MIHAMA サーキット	2h	20	20
第3戦	9月4日	MIHAMA サーキット	2h	20（予定）	20（予定）
第4戦	10月11日	MIHAMA サーキット	2h	20	20
第5戦	12月11日	MIHAMA サーキット	2h	20	20

※レース時間は暫定。主催は上記グリッド数とは別に特別招待枠を設けることがある。グリッド数は各戦の特別規則書にて別途定める

※第3戦はオートスポーツ スポーツカートミーティングと併催

6、参加資格およびチーム人数

原則としてレース開催日に満18歳以上の健康でカートを運転する上で支障のないカートレース経験者。また、カートレースにおけるルールやマナーを守れ、かつ下記の条件を満たす者

- ・SL カートライセンス・JAF カートライセンス・美浜サーキット A ライセンスを所持している者
- ・主催者が参加を認めた者
- ・1チームの参加人数は2～8名

なお、大会当日に18歳に満たないジュニアドライバーがチームに所属する場合はひとりまでは、19で定めるドライバー交代回数決定方法に従い、2名以上のジュニアドライバーひとりにつき1回のドライバー交代回数が加算される。

7、参加申込み

原則、レース開催1カ月前の正午12時より受付を実施する。先着順にて受け付け、各クラス定員となった時点で締切とする。

専用ウェブサイト (<http://www.sportkart.info>) からリンクされたエントリーシステム（インターネットショッピングのシステムを使用）にて必要事項を記入の上、申込み、クレジットカードでエントリー費用の支払いを行う。先着順に受け付け、支払いが完了したチームには事務局から受理を伝えるメールを送信する。期日前の申込みは受け付けない。クレジットカードでの決済ができないエントリーは自動的にキャンセルされる。

申込枠がいっぱいになった場合、専用ウェブサイト内にキャンセル待ちの窓口を設置する。メールにて受付、キャンセルが発生した場合、抽選を行い販売する。

理由の如何を問わず、エントリーができない場合の抗議は一切受け付けない。

受付後1週間以内に、事務局からのメールに従ってチーム名や出場選手の氏名などを届け出、レース当日の受け付けには、事務局からメール送信する誓約書をプリントアウトの上、参加者全員が署名、捺印して持参すること。

8、参加費

第1、2、4、5戦

・GT1クラス 22,000円

・GT2クラス 50,000円

※エントリー代には当日の練習走行代（約2時間）が含まれます。また、GT2クラスにはカートレンタル費が含まれます。

※各クラス共に、ガソリン代のみ別途必要です。

※第3戦の参加費は上記と異なる場合があります。その場合は、特別規則ならびに公式サイトにてご案内をします。

9、GT2クラス参戦車両の決定

受付時のくじ引きによる抽選で決定。

ただし、体格により車両が制限される場合がある。その場合、参加者の体格への適合が優先される。

10、スターティンググリッドの決定

グリッド順はすべて抽選で決定。抽選は受付時にくじ引きにて行う。

先頭はGT1クラス。GT1クラス最後尾後方にGT2クラスの先頭から整列する。

11、ドライバー装備

レーシングカート用スーツもしくは4輪レース用レーシングスーツもしくはメカニックスーツ（厚手の布つなぎ）を推奨。長そで長ズボンの場合、車両への巻き込み対策・風圧で暴れないようしっかり止めてあること。くるぶしまで覆う靴、滑り止めの着いた手袋、バイザーの付いたヘルメットを着用すること。

※ヘルメットはJIS2000もしくはそれと同等以上の規程を満たしていること。フルフェイスタイプを強く推奨する。

※プロテクション機能を有するJAF認定もしくはFIA認定レーシングカート用スーツの着用を強く推奨する。

※ナイター照明を使用する夜間のレースにおいては、照明が点灯された時点からスモークシールドの使用を禁止する。反している場合にはオレンジボール旗が当該ドライバーに提示される。

※イベント開催中いっさいの無線の使用を禁止する。走行中の携帯電話の携行、使用は自由。

※ティアオフシールド（捨てバイザー）の使用は許可する。ただし、走行中に取り外すことは禁止され、風圧等で外れないような措置を施すこと。

12、レース方法

スタートから所定時間内の周回数で順位を争う。チェッカーフラッグを受けることを優先し、ピットおよびコース内外で停止してチェッカーフラッグをコース上で受けられない場合にはリタイヤとみなす（ピットロードを走行していてもチェッカーを受けたとみなされる）。同一周回の場合にはチェッカーを早く受けたチームが上位と認定される。決勝中のドライバー交代は

別途定める回数をクリアすれば自由。

全ての参加者は、ガソリンによる性能格差を抑えるため、コース内指定場所にて販売するガソリンを購入、使用することを義務付ける。

13、スタート方法

スタート5分前までに全車コース上グリッドへ整列する。スタート1分前に全車エンジンを始動し1周のフォーメーションラップを行う。全車がグリッドへ整列後、シグナルレッド点灯から消灯でレーススタートとする。GT1クラスとGT2クラスはクラスごとにグリッドに整列する。スタート方式はスタンディング方式とする。

- ・スタート5分前までにグリッドに整列できない場合にはピットスタートとなる。
- ・グリッドでエンジンが始動しない等のトラブルが発生した場合にはピットスタートとなる。
- ・フォーメーションラップ中にトラブルやスピン等で停止した場合には、スタートが優先され停止した車両はコース上で安全に待機し、セーフティーカー介入後に回収すること。

14、ペナルティ

レース中は本規則が適用され、それに違反した者はペナルティの対象となる。

ペナルティの種類は下記の通り。

a : 警告 b : ピットストップペナルティ c : 順位降格 d : 失格

また、具体的な行為によるペナルティは下記の通り。

①: ピットストップペナルティ: 1分間

- 1) スタート時のフライング
- 2) イエローラインカット
- 3) 与えられたフラッグサインの無視
- 4) ピットロードシケインのパイロンタッチ
- 5) プッシングおよびブロッキング (主催者判断による)
- 6) ピットロード徐行違反 (ピット入口付近含む)
- 7) S字パイロンタッチ (2回)
- 8) ドライバー交代時、エンジンストップ義務違反
- 9) 徐行違反
- 10) その他、主催者が判断した場合

②失格

- 1) 危険行為
- 2) 与えられたフラッグサインの無視
- 3) チェーンオイル塗布、義務違反
- 4) 無断セッティング変更 (GT2)
- 5) プッシング、ブロッキング (主催者判断による)
- 6) その他、主催者が判断した場合

※警告ペナルティは主催の判断による。

15、走行中の危険行為

走行中のプッシングやブロッキング等の危険行為はペナルティの対象となる。速度の違うクラスの混走であることを考慮し、一般のレーシングカートレースよりも厳しい判定基準によってピットストップペナルティもしくは失格の罰則が適用される。

16、ピットロードの走行

ピットロードの通過に際しては最徐行しなければならない。作業エリアを走行してはならない。速度違反、走行区分を違反した場合にはピットストップペナルティが課せられる。

17、ピットロードシケインのパイロンタッチ

ピットロードに設置されたシケインのパイロンに接触した場合、もしくはシケインを不通過の場合にはピットストップペナルティが課せられる。

18、ペナルティ提示方法

ペナルティの対象となる違反が発生した場合はコース上メインポストから“黒旗”と“ゼッケンNo”を提示する。提示されたカートは速やかにピットインしペナルティエリアで1分間のストップ、もしくは失格が命じられる。ピットストップペナルティの場合1分後オフィシャルの指示で再スタートできる。

※ペナルティストップでピットインの際は、ドライバー交代を含む他のすべての作業は行えない。

19、ドライバー交代

各クラス共、大会受付時に各ドライバーの体重測定・年齢確認を行い、以下に定める方法でピットイン回数を決定する。

※計測には女性も含まれます。なお、体重計測には女性スタッフが対応します

レース中のドライバー交代は全チーム主催者が定めた場所で行う。

ドライバー交代時は必ずエンジンを停止する。

ドライバー交代時のピットストップの時間規定、方法については別途定める。

ドライバー交代の回数は下記のように規定する。

・GT1 クラス

ドライバー交代回数 →5 回以上

※車両は26、④で定める通り、車両重量+全ドライバーの平均体重=150kg 以上とし、足りないチームはウエイト等で重量を調整すること。

・GT2 クラス ドライバー交代回数は参加するドライバーの平均体重で決定

平均体重：70kg 以上 → ピット回数 4回以上

平均体重：65～70kg 未満 → ピット回数 5回以上

平均体重：60～65kg 未満 → ピット回数 6回以上

平均体重：55～60kg 未満 → ピット回数 7回以上

平均体重：55kg 未満 → ピット回数 8回以上

※ドライバーの年齢によって体重の計測値に以下の数値を加える

50 歳以上→5kg プラス

60 歳以上→15kg プラス

70 歳以上→30kg プラス

各クラス、規定回数を満たさない場合には、失格とする。

計量したドライバーは決勝中、最低 10 分以上の走行を義務付け。ドライバー1 名当たりの連続走行時間制限はないが主催者判断で安全でないと判断した場合には、ピットイン命令が出される場合がある。

20、ピット作業（チェーンオイル塗布、給油）

1) GT2 クラスはチェーンオイルの塗布を全チーム義務付けとなる場合がある（塗布場所は改めて発表する）。

方法は各主催者が決定した時間帯と方法でチェーンオイル塗布が義務付けられる。塗布は指定された場所にて主催者が準備したチェーンオイルを塗布すること。時間内に塗布できなかったチームは失格とする。

23、リペアエリア設置

レース中、接触やコースアウト、不慮のトラブルでカートが破損した場合にはリペアエリアを設け、そこで修理を行うものとする（チーム内で修復作業が行える場合はリペアエリア内で修理を行うことは可能。ただし、修理以外の作業は禁止）。

複数のカートが重複した場合はリペアエリアに到着した順番に優先する。

よって、軽度な修理でも順番待ちが発生する可能性がある。

原則として車両交換は行わず修理を行うものとする。

リペアエリアは別途案内をする。

ただし、修理不可能な場合にはスペアカートに変更することが認められるが、操作ミス等で破損しスペアカートを使用した場合には有料となる。

※メンテナンスについては十分に行っておりますが、2時間以上のレースともなると予想できないトラブルが発生することがあります。ご理解ください。

24、セーフティーカーおよびフルコースコーション

コース上でのストップ車両が発生した場合、セーフティーカーが介入する。セーフティーカーがコースイン後、原因車両は自走してピットへ戻ることを禁止する。

セーフティーカー介入決定後、直ちに全ポストは黄旗、メインポストは「SC」ボードを提示しセーフティーカーが先頭に関係なくコースインする。すべての車両はセーフティーカーを先頭に1列に整列しなければならない。その際の追い越しは禁止する。ただし、トラブルにより隊列について行けない場合は、片手を上げ、後続に合図しながらラインを外すこと。フルコースコーション中にピットインは可能とし、ピットアウトについてはオフィシャルの指示に従うこと。セーフティーカーがピットインし、メインポストで緑旗が提示されたら、コントロールラインよりフルコースコーションは解除される。その際、コントロールライン手前での追い越しは禁止される。

26、GT1 車両規定

①シャシー：

- ・公認実績のあるカート用シャシーのみ
- ・前後左右にはバンパーを必備とし、リヤの大型バンパーは推奨
- ・フルカウル、ウイング類禁止
- ・アンダーパネル取り付け禁止
- ・バックミラーの取付け自由
- ・フロントブレーキ自由
- ・その他K-TAI ルールに準拠、ただし、本規則とK-TAI の規則とで内容が異なる場合には本規則が優先される。
また、大会特別規則が制定される場合には、特別規則が優先される。

②タイヤ：下記指定タイヤ

- ・指定タイヤはダンロップ製 SL98 オールウェザータイヤのみ
- ・ビードストッパーの取付自由（取付方法はK-TAI 規則に準ずる）

※但し、ビードストッパー付きでないホイールに穴を空けてビードストッパーを付けることは禁止

③エンジン：

排気量211cc以下の4ストローク汎用エンジンで指定エンジン。また、セルスタータは推奨。

〈指定エンジン〉

- ・HONDA製：GX120/160/200
- ・SUBARU製：EX13/17/21/KX21

※上記以外の主催者が認める4ストローク汎用エンジン

エンジン本体の加工や改造は禁止、キャブレター、マフラーを含め、純正部品以外の交換は許されない。エアクリーナーは必備。イグニッションキーシリンダー、バッテリーについては交換可。

レース後の再車検により、エンジン内部の確認を行うことがある

④車両重量：

車両重量+全ドライバーの平均体重=150kg以上とし、足りないチームはウエイト等で重量を調整すること

27、賞典（GT1クラス・GT2クラスは別賞典）

1位：トロフィー、シャンパン、賞品、副賞ASシリーズ優勝者ステッカー

2位：トロフィー、シャンパン、賞品

3位：トロフィー、シャンパン、賞品

特別賞：

・ファステストラップ賞：レース中、各クラスのファステストラップをマークしたチームに賞品を授与
上記各賞典は参加台数により変更となる場合がある。その他、変更となる場合は追って案内を行う。

28、シリーズポイントの授与（GT1クラス・GT2クラスは別賞典）

決勝順位 1位 2位 3位 4位 5位 6位 7位 8位 9位以下出走

ポイント 15 12 9 7 6 5 4 3 1

※全戦有効

29、チームの認定

各戦1名が次戦に継続エントリーしていれば同一チームとして見なされる。

例) 第1戦 ABCD 第2戦 A EFG 第3戦 B HIJ

原則としてチーム名の途中変更は許されない。

30、シリーズ賞典

・GT1クラス

1位：トロフィー、賞品、

2位：トロフィー、賞品、

3位：トロフィー、賞品

・GT2クラス

1位：トロフィー、賞品、

2位：トロフィー、賞品、

3位：トロフィー、賞品

31、その他

本規則書の内容とレースごとに定める特別規則書とで内容が違っている部分に関しては、特別規則書にある記載内容に従ってレースが運営される。

変更履歴

2010年2月25日 2010年規則新規制定

<変更1>2010年2月26日 誤記訂正

<変更2>2010年3月12日 シリーズ賞典を追加

<変更3>2010年4月22日 ドライバー交代、GT1車両規程を変更